

八尾市と近畿大学との官学連携の取り組み (令和元年度取り組み報告)

令和元年 4 月 24 日 連携協議 ※八尾市 4 名 近畿大学 2 名 (米田昌弘教授、東山浩士教授)

令和元年 5 月 22 日 連携協議 ※八尾市 3 名 近畿大学 2 名 (米田昌弘教授、東山浩士教授)

令和元年 5 月 24 日 八尾市都市基盤施設維持管理推進会議 (第 3 回)



会議の様子

<議事内容>

1. 報告事項

(1) 八尾市と近畿大学との官学連携の取り組み (平成 30 年度) について

2. 議事

(1) 平成 30 年度の維持管理 (行動計画) の実績評価について 【議案 1】

(2) 令和元年度の維持管理 (行動計画) の行動目標について 【議案 2】

(3) 令和元年度の八尾市と近畿大学との官学連携の取り組みについて 【議案 3】

3. 意見交換

日 時 : 令和元年 5 月 24 日 (金) 16 : 00 ~ 17 : 15

場 所 : 八尾市役所 西館 4 階 和室 1 ・ 2

出席者 : 八尾市都市整備部 19 名

近畿大学 理工学部 2 名 ※米田昌弘教授、東山浩士教授

令和元年 8 月 16 日 連携協議 ※八尾市 1 名 近畿大学 1 名 (米田昌弘教授)

令和2年1月15日 八尾市管理対象橋梁の維持管理に関する研修会



研修会の様子

道路や橋梁などの都市基盤施設の維持管理・更新における予算や人員、技術的課題解決や研究推進を目的とした、八尾市管理対象橋梁の維持管理に関する研修会を行った。

第1部では、「道路管理者のための中小規模橋梁の維持管理ハンドブック」を使用した一般財団法人 災害科学研究所による橋梁の対策優先順位決定手法についての講義を行った。

第2部では、日頃の日常点検の報告及びグループディスカッションにより、橋梁点検、診断における知識を深めるとともに、今後の課題や取り組むべき内容について共通認識を図ることができた。

<講義内容>

第1部

1. 橋梁点検及び橋梁長寿命化修繕計画の取り組み状況について
2. 対策優先順位決定手法について ※一般財団法人 災害科学研究所

第2部

1. 損傷橋梁の点検から診断結果報告、及びグループディスカッション
※米田昌弘教授 東山浩士教授 ※一般財団法人 災害科学研究所
※一般社団法人 近畿建設協会

内 容：八尾市管理対象橋梁の維持管理に関する研修会

場 所：八尾市役所 西館4階 和室1・2

出席者：八尾市都市整備部 40名

近畿大学 理工学部 2名 ※米田昌弘教授、東山浩士教授

オブザーバー 3名 ※一般財団法人 災害科学研究所 2名
一般社団法人 近畿建設協会 1名

令和2年3月5日 八尾市都市基盤施設維持管理推進会議（担当者会議） 八尾市 16名

○八尾市橋梁長寿命化修繕計画（見直し）に関する学識意見聴

橋梁の長寿命化修繕計画については、平成 24 年度の計画策定、平成 25 年度からの修繕工事の取り組みから 5 年以上経過し、また、平成 28 年度、平成 29 年度には、新たな 4 段階の判定区分による健全度の診断を取り入れた定期点検が実施されたことから、令和元年度に、横断歩道橋の個別施設計画の策定と合わせ、橋梁の長寿命化修繕計画の見直しを行なった。

具体的には、①点検結果による劣化予測の見直し、②新たな 4 段階の診断結果による優先順位の見直し、③現在の進捗状況、財政状況に合わせた施工時期の見直し、④新技術、新工法等の新たな知見を踏まえた見直しのほか、八尾市と近畿大学理工学部との官学連携の取り組みで得たノウハウ、及び、「道路管理者のための中小規模橋梁の維持管理ハンドブック」に記載の橋梁の対策優先順位決定手法の考え方を取り入れた見直しを行った。

- | | | |
|-------|-----------------|------------------------------|
| 第 1 回 | 令和元年 11 月 18 日 | ・対策優先順位の評価手法について |
| 第 2 回 | 令和元年 12 月 13 日 | ・対策優先順位について、長寿命化修繕計画策定方針について |
| 第 3 回 | 令和 2 年 1 月 15 日 | ・対策優先順位について、長寿命化修繕計画策定方針について |
| 第 4 回 | 令和 2 年 3 月 31 日 | ・長寿命化修繕計画の策定効果について |